

【事故】

令和2年度 第1回 富山県道路安全・円滑化検討委員会 安全走行阻害箇所関係 説明資料

— 目 次 —

1. 令和元年度 検討委員会での確認内容及び今回の検討内容 P 1
2. 令和2年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定 P 4
3. 令和2年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定 P10
4. 令和2年度 安全走行阻害箇所 P15
5. 今後の進め方 P16

令和2年9月3日(木)

1. 令和元年度検討委員会での確認内容及び今回の検討内容

(1) 令和元年度の委員会の確認内容

7月

検討委員会の開催

- ①最新事故データによる安全走行阻害箇所の更新
(解除・追加判定)
- ②今後の進め方



(2) 令和2年度の委員会の検討内容 **今回**

9月

第1回検討委員会の開催

- ①最新事故データによる安全走行阻害箇所の更新
(解除・追加判定)
- ②今後の進め方

1. 令和元年度検討委員会での確認内容及び今回の検討内容

(3) 富山県の安全走行阻害箇所の抽出基準と箇所数

- 安全走行阻害箇所は、①事故危険箇所、②事故多発箇所、③アンケート抽出箇所の3条件を基に抽出。
- 平成28年度には、事故危険箇所の抽出基準に「潜在的危険箇所」を追加。
- 安全走行阻害箇所は、当初(平成22年度末)から、計8回の解除・追加を経て、現在187箇所を登録。

【富山県安全走行阻害箇所の抽出基準】

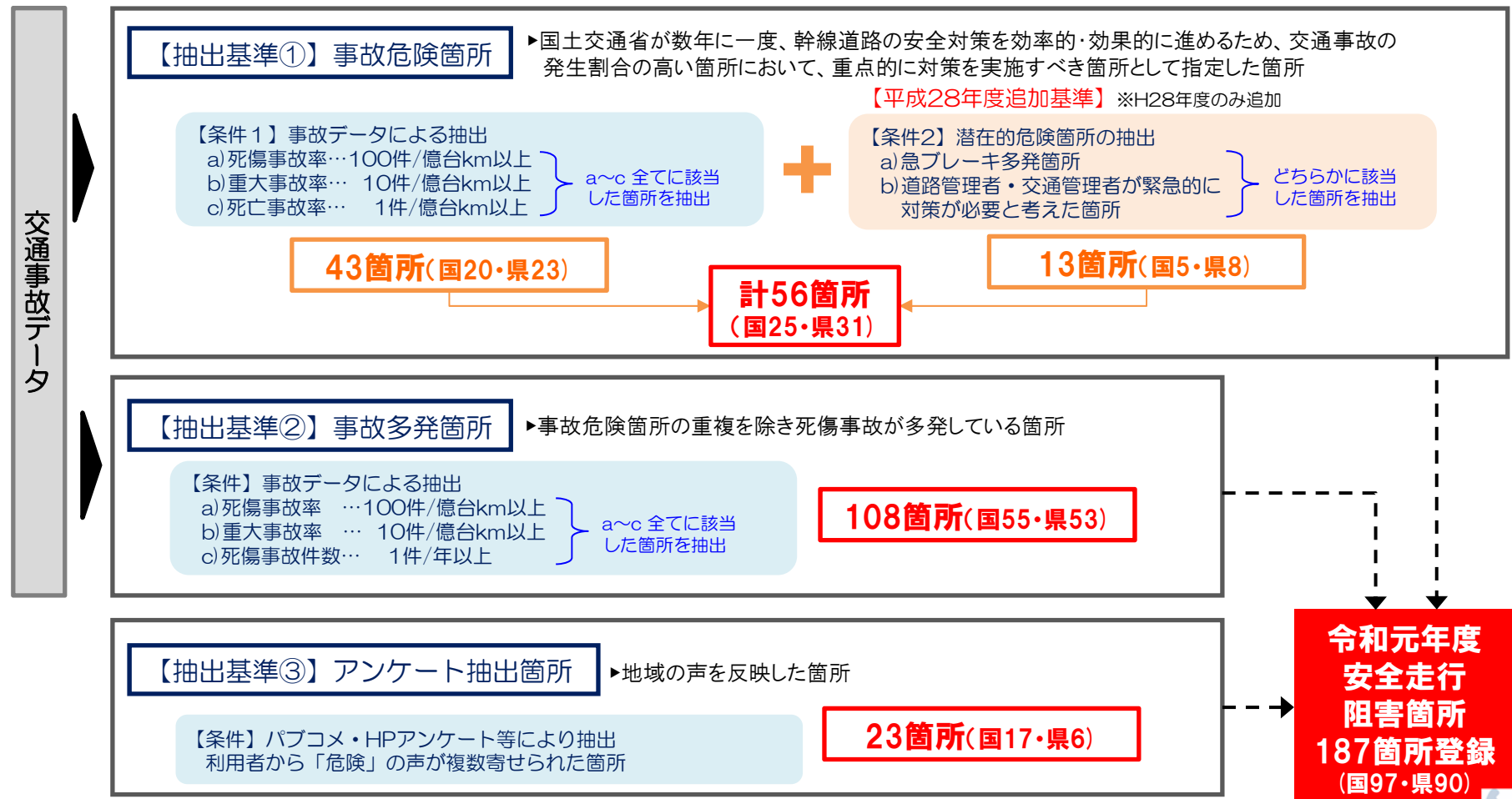


図-1 安全走行阻害箇所抽出基準と登録箇所数

1. 令和元年度検討委員会での確認内容及び今回の検討内容

(4) 安全走行阻害箇所の解除・追加フロー

- 安全走行阻害箇所の解除・追加は、最新事故データ(平成27～30年)で評価し抽出基準の該当状況を整理。
- 平成29年度委員会で承認を受けた「安全走行阻害箇所解除・追加フロー」に基づき候補箇所を選定。

【安全走行阻害箇所の解除フロー】

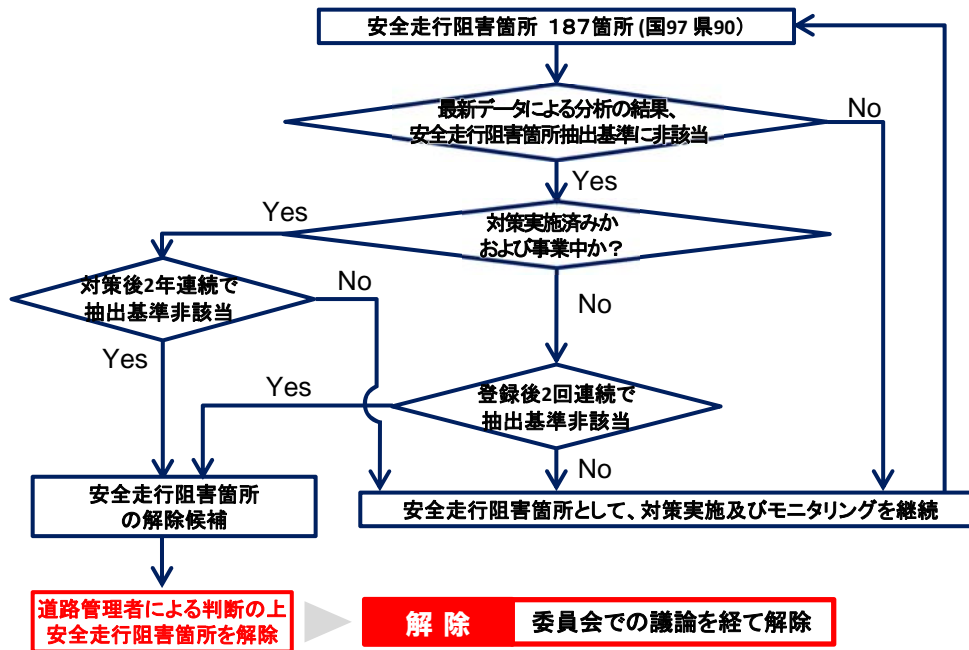


図-2 安全走行阻害箇所解除フロー
(平成29年度委員会にて決定)

【安全走行阻害箇所の追加フロー】

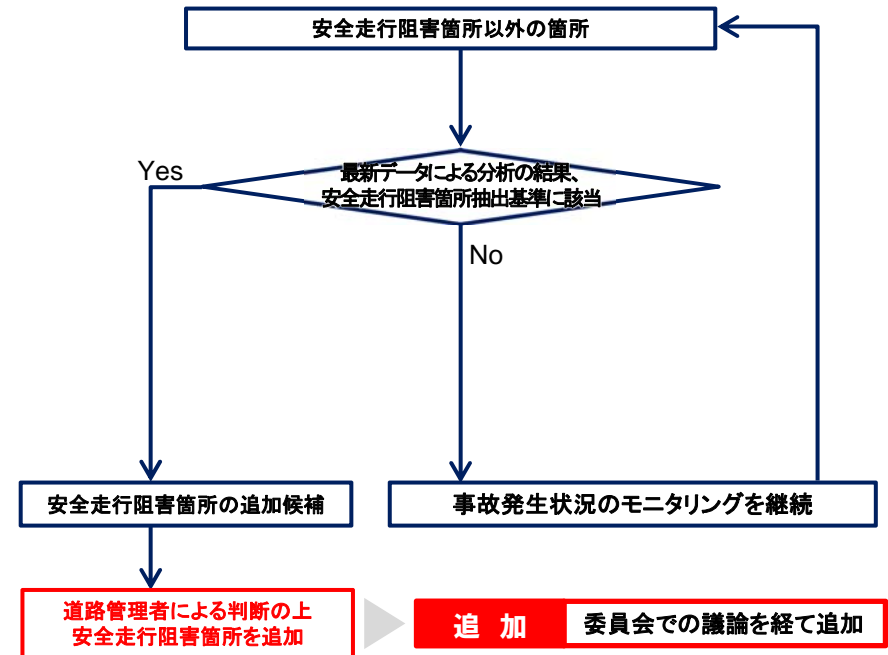


図-3 安全走行阻害箇所追加フロー
(平成29年度委員会にて決定)

2. 令和2年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

(1) 解除候補箇所の選定

- 安全走行阻害箇所のうち、最新事故データ(平成27～平成30年)による選定の結果、解除候補箇所は87箇所。(国管理34箇所、県管理53箇所)
- 解除判定は、道路管理者による判断の上解除箇所を絞り込み、委員会での議論を経て、安全走行阻害箇所を解除する。

【解除候補箇所の抽出フロー】

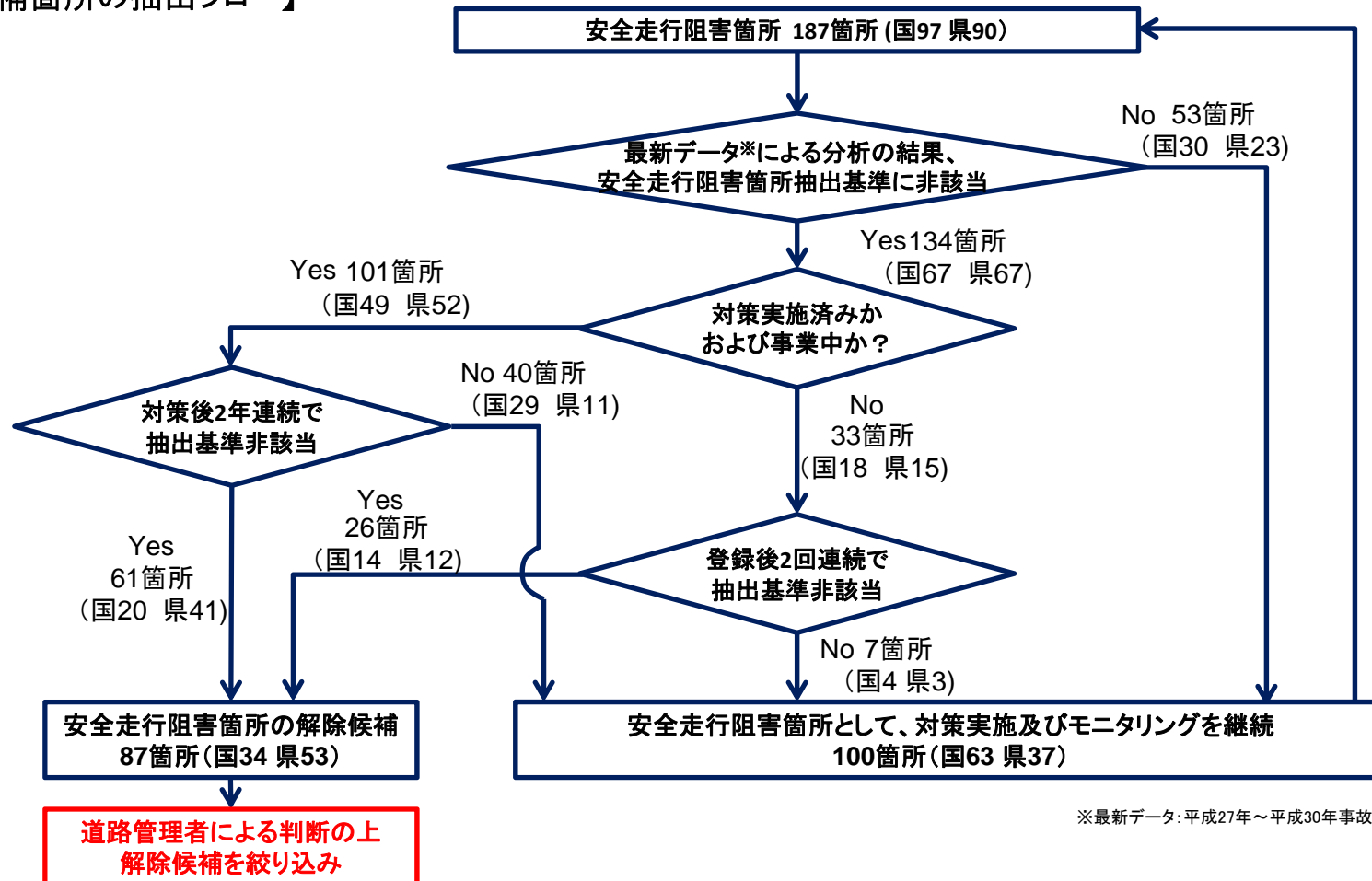


図-4 解除候補箇所選定

2. 令和2年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

(2) 道路管理者による解除判定結果

- 安全走行阻害箇所からの解除は、解除候補箇所のうち事故の危険性が低い20箇所を解除。

〔令和2年度解除判定〕

(1) 事故危険箇所

- ① 死傷事故率 100件/億台km
- ② 重大事故率 10件/億台km
- ③ 死亡事故率 1件/億台km

全指標
非該当

(2) 事故多発箇所

- ① 死傷事故率 100件/億台km
- ② 重大事故率 10件/億台km
- ③ 死傷事故件数 1件/年

全指標
非該当

(3) アンケート箇所

- ・対策後アンケート意見なし

解除

表-1 解除箇所

管理事務所	No	市町村名	道路種別	路線番号	地点名	最新事故データ(H27-H30年事故)				備考
						死傷事故率 (件/億台km)	重大事故率 (件/億台km)	死亡事故率 (件/億台km)	死傷事故件数 (件/年)	
富山河川国道事務所	1	魚津市	国道	8	慶野交差点	53.4	0.0	0.0	0.5	注意喚起路面標示設置(H27年実施)
	2	富山市	国道	41	上袋交差点	34.6	0.0	0.0	0.5	ドットライン設置(H28年実施)
	3	砺波市	国道	156	荒高屋	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4	高岡市	国道	156	戸出光明寺	0.0	0.0	0.0	0.0	ドットライン延伸(H28年実施)
	5	高岡市	国道	156	戸出町	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6	高岡市	国道	156	佐野交差点	28.9	0.0	0.0	0.3	高岡環状線全線供用(H26,H27年実施)
	7	高岡市	国道	156	大手町交差点~本町交差点	65.5	0.0	0.0	0.5	注意喚起路面標示設置(H28年実施)
富山県管理	8	富山市	国道	359	婦中町下邑~婦中町新町	0.0	0.0	0.0	0.0	注意喚起路面標示(H25年実施)
	9	砺波市	国道	359	太田交差点	72.9	0.0	0.0	0.3	区画線(カーブ注意)設置(H23年実施)
	10	小矢部市	国道	359	津沢小学校前交差点	84.1	0.0	0.0	0.3	区画線引き直し、明色(滑り止め)舗装(H22実施)
	11	富山市	国道	415	四方荒屋(北)交差点	70.7	0.0	0.0	0.3	
	12	高岡市	主地	9	戸出町3丁目2番地-7 (戸出北町交差点)	81.5	0.0	0.0	0.5	
	13	砺波市	主地	16	神島交差点	93.9	0.0	0.0	0.3	交差点改良(H22年実施)
	14	富山市	主地	31	平岡155番地	0.0	0.0	0.0	0.0	
	15	富山市	主地	43	大町(一区南部)交差点	31.1	0.0	0.0	0.3	注意喚起路面標示(H25年実施)
	16	富山市	主地	56	飯野交差点	76.1	0.0	0.0	0.8	蛍光ステッカーを中央分離帯に設置(H22年実施)
	17	入善町	主地	60	入善東町交差点	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18	富山市	主地	62	古沢東交差点	62.5	0.0	0.0	0.8	区画線(交差点内導流線等)設置(H25年実施)
	19	富山市	主地	65	山室339-1~山室(西)交差点	58.3	0.0	0.0	0.8	注意喚起路面標示(H25年実施)
	20	射水市	県道	204	鷺塚677番地-7	0.0	0.0	0.0	0.0	

20箇所
解除

2. 令和2年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の解除箇所位置図

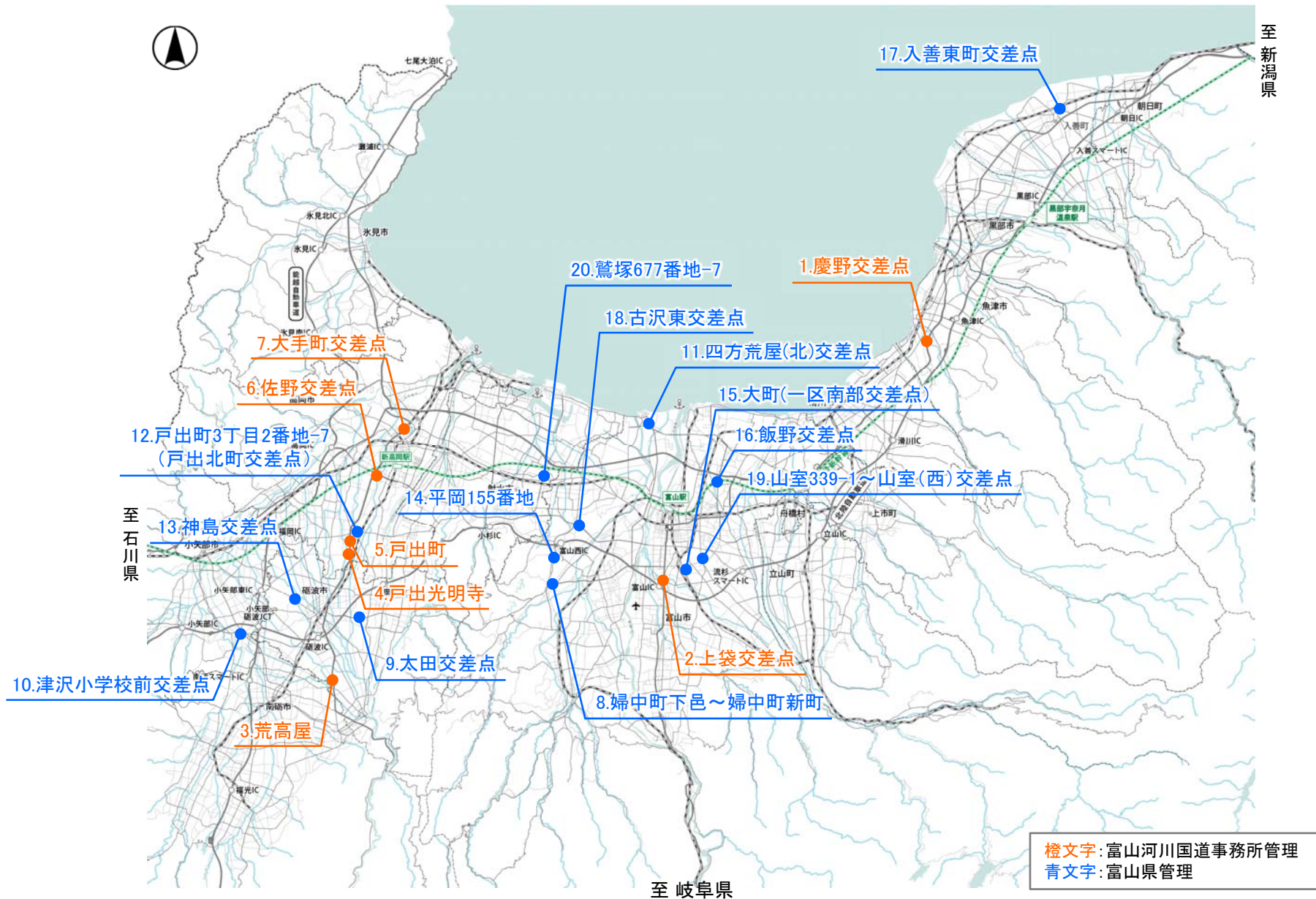


図-5 安全走行阻害箇所解除箇所位置図

2. 令和2年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

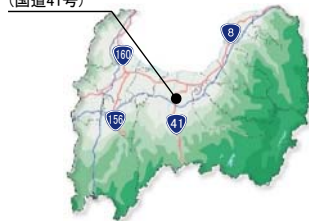
■ 安全走行阻害箇所の解除箇所の事例

国道41号 ^{かみぶくろ} 上袋交差点 【抽出基準②：事故多発箇所】

- 対策前：交差点手前での追突事故が多発。
- 対策内容：ドットライン＋注意喚起路面標示「追突注意」設置
- 対策後：対策後、**死傷事故が約8割減少**。（選定時 2.75件/年→対策後 0.5件/年）
最新事故データより解除判定に該当するため、**安全走行阻害箇所から解除**。

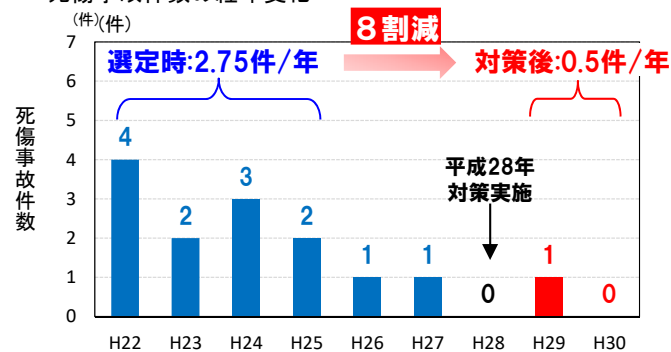
《位置図》

上袋交差点
(国道41号)



《事故発生状況》

・死傷事故件数の経年変化



■ 選定時の事故データ
(平成22年～平成25年)

- ①死傷事故率：181.0件/億台km
- ②重大事故率：16.4件/億台km
- ③死亡事故率：0.0件/億台km
- ④死傷事故件数：2.75件/年

■ 対策後の事故データ
(平成27年～平成30年)

- ①死傷事故率：34.6件/億台km
- ②重大事故率：0.0件/億台km
- ③死亡事故率：0.0件/億台km
- ④死傷事故件数：0.5件/年

解除

《対策》

事故概要

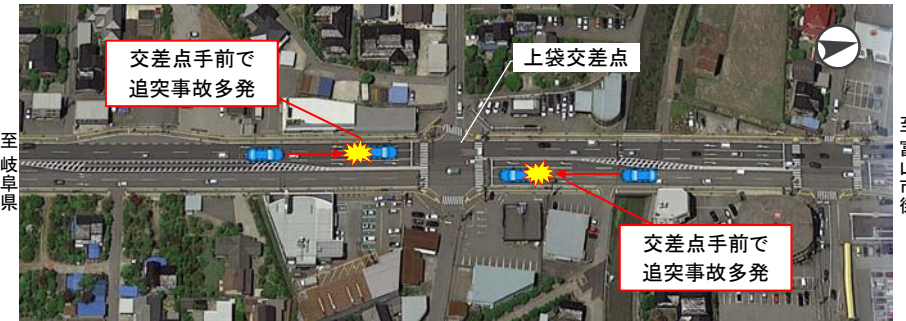


図-6 上袋交差点の主な事故

対策



至 岐阜県



至 岐阜県

【写真撮影日】平成24年10月30日(火)

【写真撮影日】平成29年11月16日(木)

図-7 対策実施の概要

2. 令和2年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の解除箇所の事例

国道8号 慶野交差点 【抽出基準①：事故危険箇所】

- 対策前：交差点内での右折事故が多発。（H24年に死亡事故発生）
- 対策内容：右折誘導線＋注意喚起路面標示「右折時対向車注意」設置
- 対策後：対策後、**死傷事故が約7割減少**。（選定時 1.25件/年→対策後 0.33件/年）
最新事故データより解除判定に該当するため、**安全走行阻害箇所から解除**。

《位置図》



《対策》

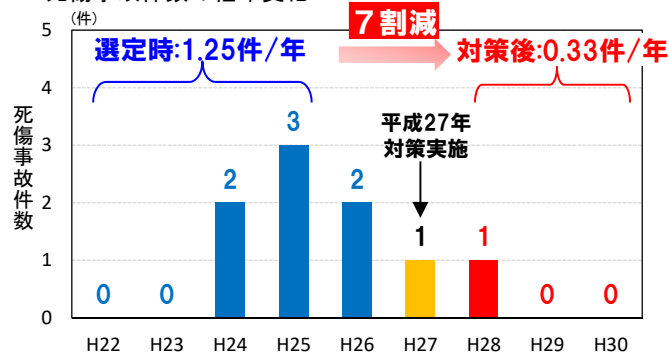
事故概要



図-8 慶野交差点の主な事故

《事故発生状況》

・死傷事故件数の経年変化



対策

対策後



至滑川市



【写真撮影日】令和2年8月31日（月）

図-9 対策実施の概要

■ 選定時の事故データ
(平成22年～平成25年)

- ①死傷事故率：139.7件/億台km
- ②重大事故率：27.9件/億台km
- ③死亡事故率：27.9件/億台km
- ④死傷事故件数：125件/年

■ 対策後の事故データ
(平成27年～平成30年)

- ①死傷事故率：34.6件/億台km
- ②重大事故率：0.0件/億台km
- ③死亡事故率：0.0件/億台km
- ④死傷事故件数：0.50件/年

解除

2. 令和2年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の解除箇所の事例

国道359号 津沢小学校前交差点 つざわしょう がっこうまえ 【抽出基準②：事故多発箇所】

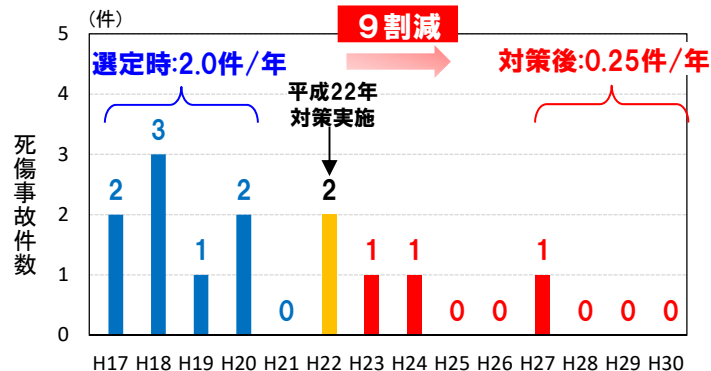
- 対策前：交差点内で多種多様な事故が発生。
- 対策内容：交差点を認識させる対策を実施〔対策：明色（滑り止め）舗装、区画線引き直し〕
- 対策後：対策後、**死傷事故が約9割減少**。（選定時 2.0 件/年→対策後 0.25 件/年）
最新事故データより解除判定に該当するため**安全走行阻害箇所から解除**。

《位置図》



《事故発生状況》

・死傷事故件数の経年変化



■ 選定時の事故データ (平成17年～平成20年)

- ① 死傷事故率：758.7 件/億台km
- ② 重大事故率：94.8 件/億台km
- ③ 死亡事故率：0.0 件/億台km
- ④ 死傷事故件数：2.0 件/年

■ 対策後の事故データ (平成27年～平成30年)

- ① 死傷事故率：53.4 件/億台km
- ② 重大事故率：0.0 件/億台km
- ③ 死亡事故率：0.0 件/億台km
- ④ 死傷事故件数：0.25 件/年

解除

《対策》

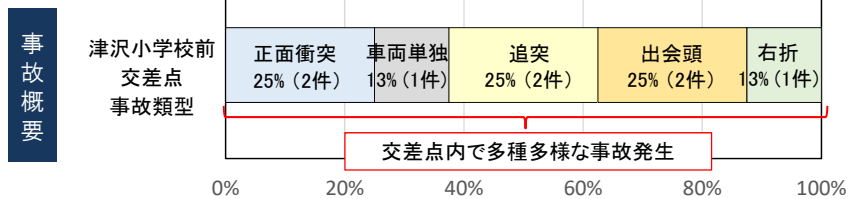


図-10 津沢小学校前交差点の事故類型割合

※ 事故件数：H17～H20年事故データ



図-11 対策実施の概要

3. 令和2年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

(1) 追加候補箇所の選定

- 安全走行阻害箇所以外の箇所のうち、最新事故データ(平成27年～平成30年)による選定の結果、追加候補箇所は108箇所。(国管理20箇所、県管理88箇所)
- 追加判定は、道路管理者による判断の上追加箇所を絞り込み、委員会での議論を経て、安全走行阻害箇所へ追加する。

【追加候補箇所の抽出フロー】

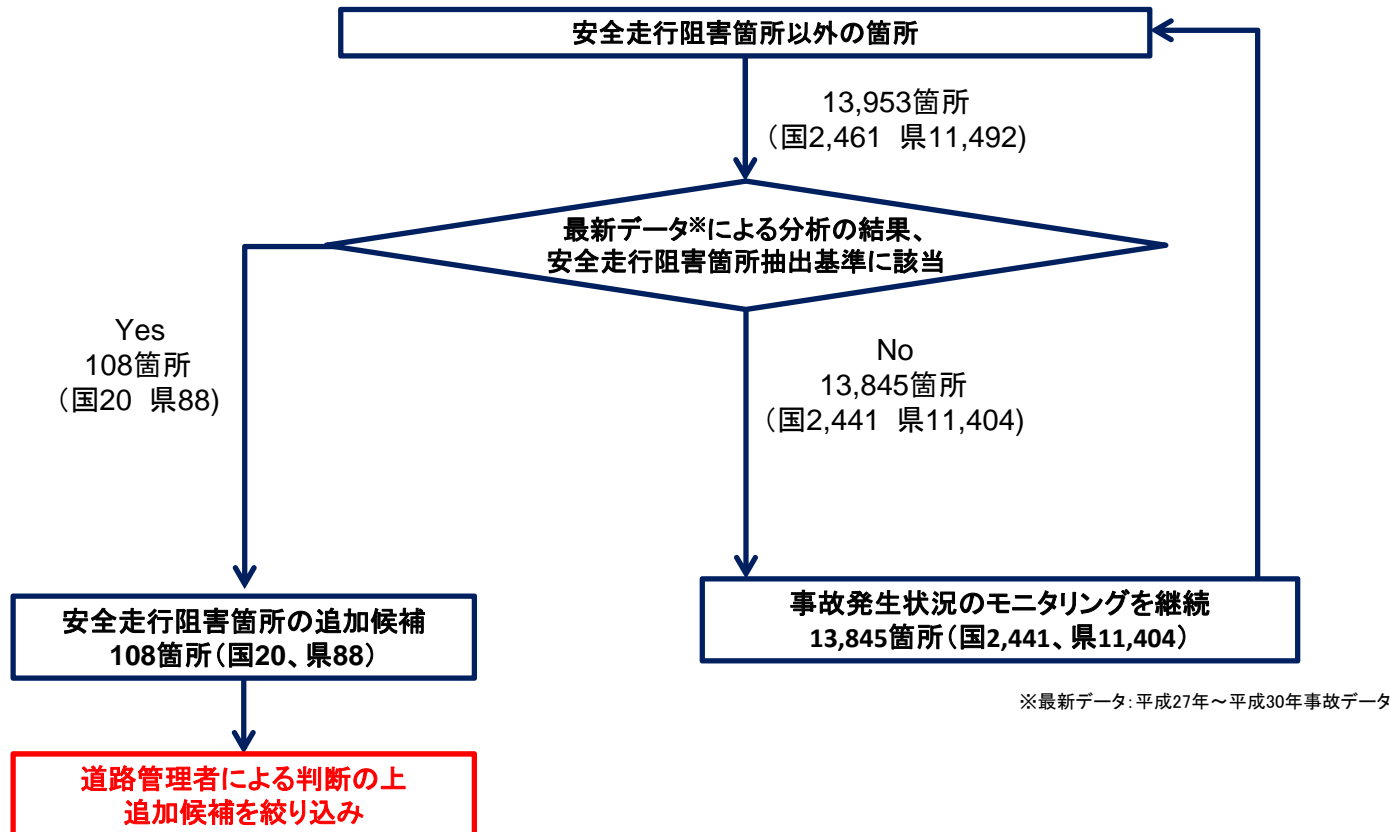


図-12 追加候補箇所選定

3. 令和2年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

(2) 道路管理者による追加箇所選定結果

- 追加候補箇所のうち対策の優先性が高い6箇所を選定。

表-2 追加選定箇所

管理事務所	No	路線	市町村	地点名	最新事故データ (H27～H30年事故)		選定理由
					死傷事故率 (件/億台km)	死傷事故件数 (件/年)	
富山河川国道事務所管理	1	国道8号	魚津市	江口南交差点	354.5	2.00	・毎年死傷事故多発
	2	国道156号	砺波市	市役所前交差点	173.7	1.50	・近年死傷事故増加傾向
	3	国道160号	氷見市	南部中学校口交差点	300.5	2.25	・近年死傷事故増加傾向
富山県管理	4	(主)富山戸出小矢部線	高岡市	中田(北)交差点	363.9	1.25	・近年死傷事故増加傾向
	5	(主)富山高岡線	富山市	五福交差点	425.5	4.00	・毎年死傷事故多発
	6	(主)富山小杉線	富山市	根塚交差点	305.0	3.00	・毎年死傷事故多発

※最新データ:平成27年～平成30年事故データ

6箇所追加

3. 令和2年度 安全走行阻害箇所への追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加箇所位置図

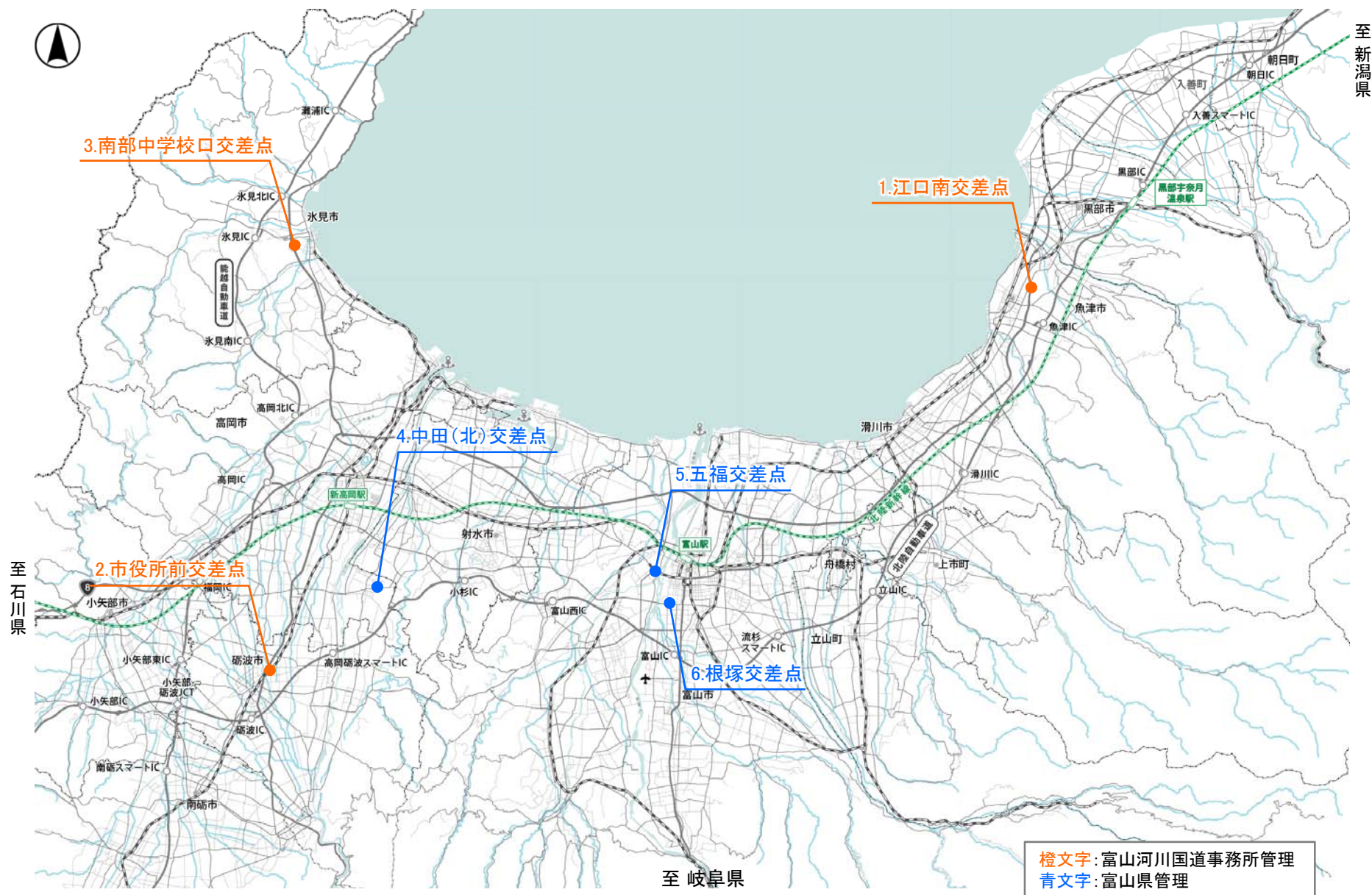


図-13 安全走行阻害箇所追加箇所位置図

3. 令和2年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加候補箇所の事例

国道8号 え ぐち みなみ 江口南交差点 【抽出基準：事故多発箇所】

- ① H27年3月 入善黒部バイパス供用後、江口南交差点周辺で事故が多発。
- ② 死傷事故が毎年2件以上発生している交差点であり、対策の必要性が高い。

《位置図》



《事故概要》

- ・国道8号 江口南交差点で発生している主な事故は以下の通り。
- ①黒部市側の右折車と対向直進車との右折事故多発。
- ②滑川市側流入部停止線付近で追突事故多発。

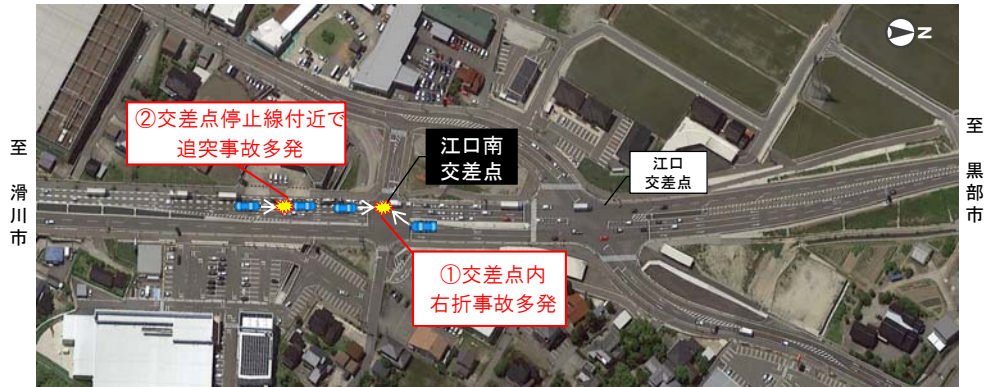
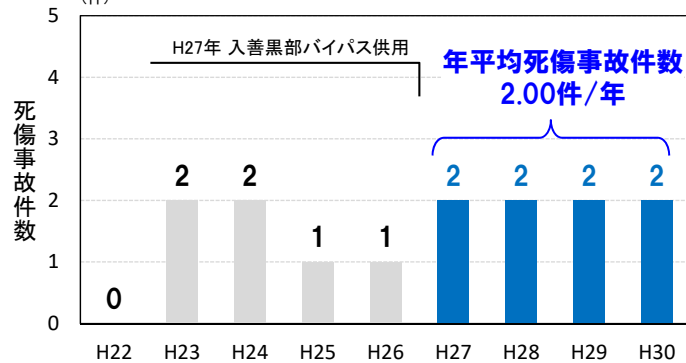


図-14 事故概要

事故データ：事故発生状況図(H27～H30年死傷事故)
※入善黒部バイパス供用後の事故

《事故発生状況》

・死傷事故件数の経年変化（江口南交差点の死傷事故件数）
(件)



■ 抽出基準（江口南交差点の事故データ）

- ①死傷事故率：354.5 件/億台km
- ②重大事故率：44.3 件/億台km
- ③死傷事故件数：2.0 件/年

事故多発箇所
抽出基準該当



図-15 江口南交差点の追突事故要因

【写真撮影日】平成30年11月2日（金）



図-16 江口南交差点の右折事故要因

【写真撮影日】令和元年11月26日（火）

3. 令和2年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加候補箇所の事例

(主) 富山戸出小矢部線 中田(北)交差点 【抽出基準：事故多発箇所】

- ① 中田(北)交差点は、近年死傷事故が増加傾向にあり、対策の必要性が高い交差点。
- ② 当該交差点は、追突事故や右折・出合頭事故が多発。

《位置図》



《事故概要》

- ・中田(北)交差点の主な事故は、以下の通り。
- ① 富山市側流入部の停止線付近で追突事故多発。
- ② 交差点内の右折および出合頭事故多発。

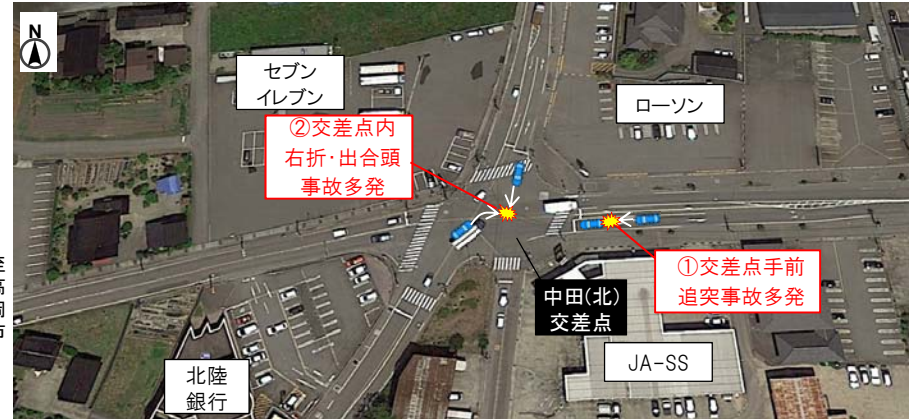
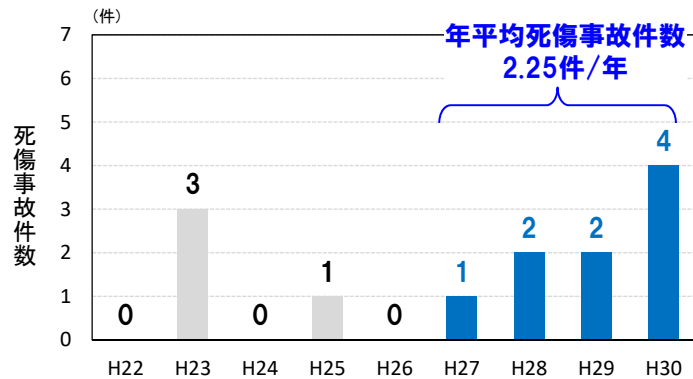


図-17 事故概要

《事故発生状況》

・中田(北)交差点の死傷事故件数経年変化



■ 抽出基準 (中田(北)交差点の事故データ)

- ① 死傷事故率: 363.9 件/億台km
- ② 重大事故率: 80.9 件/億台km
- ③ 死傷事故件数: 2.25 件/年

事故多発箇所
抽出基準該当



図-18 交差点全景写真



図-19 変則五差路交差点

【写真撮影日】令和2年8月11日(火)

4. 令和2年度 安全走行阻害箇所

■ 令和2年度安全走行阻害箇所まとめ

- 令和元年度安全走行阻害箇所187箇所のうち20箇所を安全走行阻害箇所として解除。
- 新たに国道8号江口南交差点等の6箇所を安全走行阻害箇所へ追加。
- 令和2年度安全走行阻害箇所として173箇所を登録
(令和元年度安全走行阻害箇所187箇所-解除箇所20箇所+追加箇所6箇所)

【令和2年度安全走行阻害箇所数】

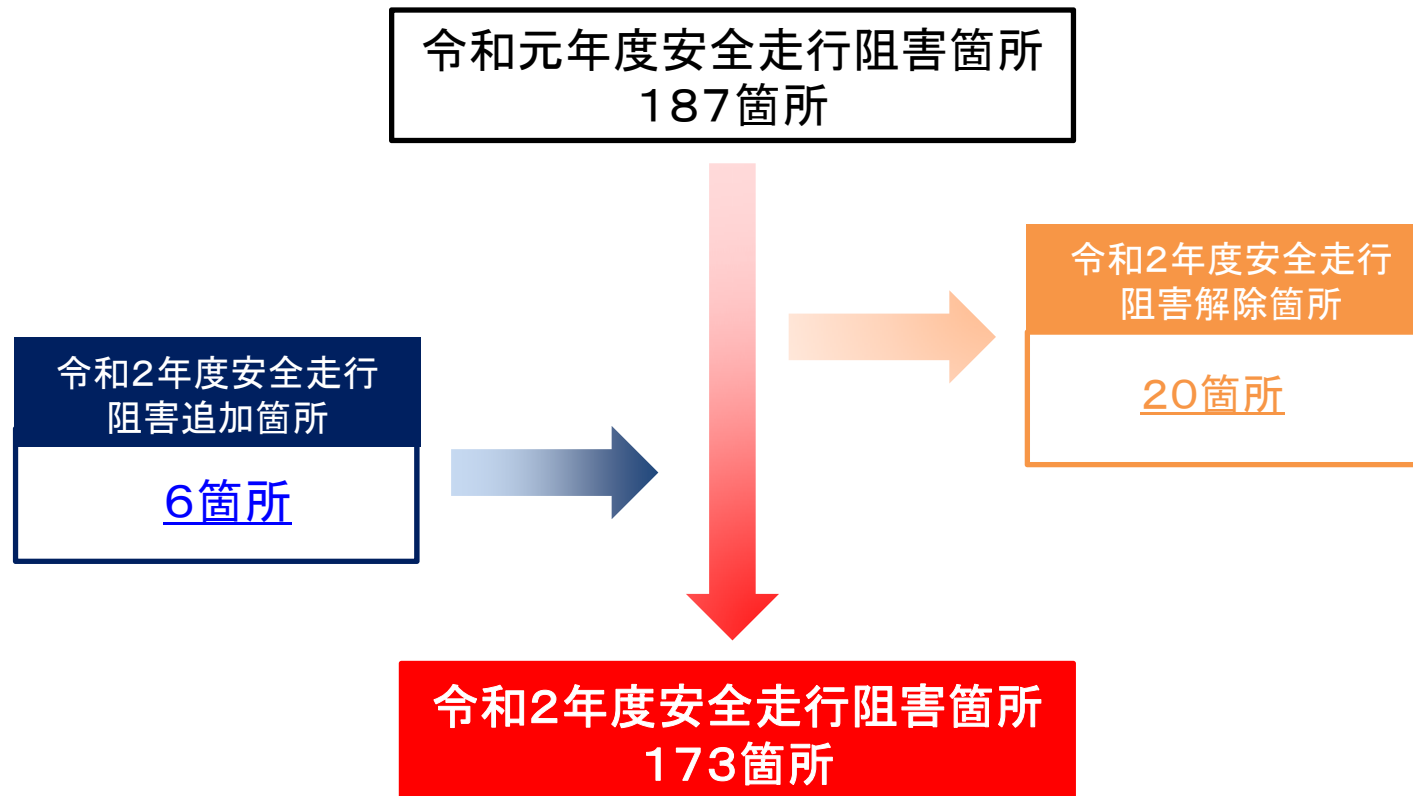


図-20 令和2年度安全走行阻害箇所数

5. 今後の進め方について

(1) 今後の検討委員会の進め方

令和2年度 第1回検討委員会(今回)

[・ 安全走行阻害箇所の更新(解除・追加)]



令和2年度安全走行阻害箇所の公表

[・ 安全走行阻害箇所の更新結果]



次回検討委員会の開催

5. 今後の進め方について

(2) HPアンケートの広報検討

〔問題〕 近年、HPアンケート回答数が少ないため、安全走行阻害箇所への抽出がない。

〔方針案〕 HPアンケート回答数を増やす工夫を今後検討。

《道路利用者アンケート(HPアンケート)》

図-21 富山県安全走行阻害箇所HPアンケート
(富山河川国道事務所HP)

〔HPアンケート回答数 ※安全走行阻害箇所のみ〕

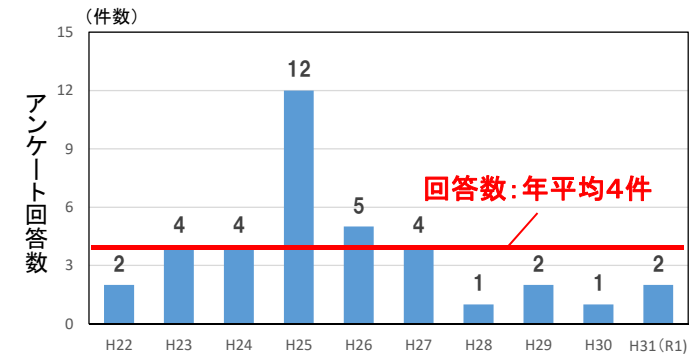


図-22 アンケート回答数
※安全走行阻害箇所のみ

〔問題〕
HPアンケート数が年平均4件と少なく、
近年、安全走行阻害箇所の抽出が低下

〔方針案〕 HPアンケート回答数を増やす工夫を検討
道路利用者が危険と感じる箇所を抽出

5. 今後の進め方について

〔例〕広報活動の強化

① 道路情報板による表示（新潟県事例）

- ・道路情報板を活用し、道路利用者へ広報した事例
→道路情報板による広報開始後HP(事故危険区間バナー)の閲覧数が急増
および事故危険区間アンケート回答数が倍増



道路情報板によるアンケートの広報

図-23 道路情報板による表示

② パンフレットやポスター作成・配布(新潟県事例)

- ・事故危険区間の周知とHPアンケートの広報を目的にパンフレットやポスター作成
→地元説明会時にHPアンケートの取組を紹介



図-25 地元説明会でHPアンケートの取組を紹介

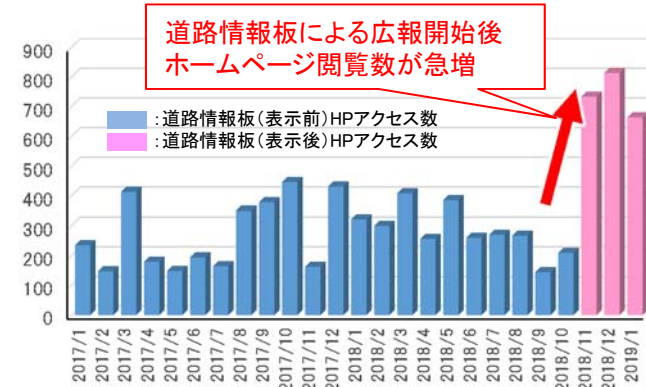


図-26 新潟県事故危険区間パンフレット

表-3 HPによるアンケート回答数

	平成29年度	平成30年度
アンケート回答数	24件	68件

アンケート回答数が約3倍に増加



道路情報板による広報開始後ホームページ閲覧数が急増

図-24 新潟国道事務所HPの事故危険区間バナーアクセス数

③ twitterを活用した広報

- ・富山河川国道事務所や富山県のtwitterに発信。
リツイートによる情報の拡散。



図-27 富山河川国道事務所 twitter